

第5回 AMDA 災害鍼灸チーム育成プログラム

【主催】 認定特定非営利活動法人 AMDA

AMDA における災害鍼灸活動は 2011 年の東日本大震災から始まりました。災害時に過酷な環境を強いられる被災者にとって、鍼灸治療の役割は大きく、これまで東日本大震災の他、広島土砂災害、福知山広域水害、熊本地震、西日本豪雨災害において災害鍼灸活動を展開してきました。AMDA はこれまでの災害鍼灸活動を含む医療支援活動の経験をもとに、今後の発生が想定される南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えています。この度、有事の際の円滑な鍼灸活動を目指し、AMDA 災害鍼灸チーム育成プログラムを開催いたします。

開催日・場所：

平成 30 年 11 月 23 日（金） 朝日医療大学校（岡山県岡山市北区奉還町 2 丁目 7 番 1 号）

平成 30 年 11 月 24 日（土） 岡山県立大学（岡山県岡山県総社市窪木 111）

参加費用：一般 3,000 円 学生 1,500 円（※宿泊費、交通費などの諸経費は自己負担）

募集人数：定員 60 名

応募期間：平成 30 年 11 月 15 日まで（定員になり次第、募集を締め切ります。）

【スケジュール、内容】

11/23（金）：13:00-17:30 （朝日医療大学校 308講義室）

13:00-13:30 「災害鍼灸活動におけるAMDAの展望」菅波茂（AMDA理事長）

13:30-14:30 「東日本大震災、福知山水害および広島土砂災害における鍼灸支援活動の内容」
今井賢治（AMDA災害鍼灸ネットワーク代表世話人・帝京平成大学）

14:30-16:00 「熊本地震災害における活動概要および現地鍼灸チームによる包括的活動について」
吉井治・松村幸子（AMDA熊本鍼灸チーム）、今井賢治

16:00-17:30 「西日本豪雨における鍼灸活動の総括および課題の抽出」
山口大輔（朝日医療大学校副学校長）他、西日本豪雨災害支援活動に従事した先生方にお話しいただきます。

※終了後懇親会を行います。（参加は任意で費用は実費負担となります。）

11/24（土）：9:15-11:30 （岡山県立大学 学部共通棟（東）8904 講義室）

「AMDA 医療支援活動の内容」難波妙（AMDA 理事・GPSP 支援局長）

「鍼灸支援活動における問題点とその解決」（質疑応答及び総合討論）

ファシリテーター：今井賢治

13:20-17:30 （岡山県立大学 学部共通棟（南）2F 8206講義室）

「第5回 南海トラフ災害対応プラットフォーム調整会議」

※プログラム内容については変更する場合があります。

【申込み・問い合わせ】 認定 特定非営利活動法人 AMDA（アマダ）

〒700-0013 岡山市北区伊福町 3-31-1 TEL：086-252-7700 FAX：086-252-7717

メール：member@amda.or.jp ホームページ <http://www.amda.or.jp>

【講師紹介】

岡山大学 大学院卒

医学博士(公衆衛生学) 医師

AMDA 創設者, AMDA 理事長

菅波 茂 (すがなみ しげる)



病院勤務の後、81 年に医療法人、その後社会福祉法人を立ち上げ 30 年間にわたり地域医療を推進してきた。クリニックでは自らも鍼治療を実践。84 年 AMDA を創設し各種活動分野を指揮。2010 年より医療経営を離れ、国際人道支援活動に専念。同年のパキスタン洪水に引き続き、東日本大震災、フィリピン台風、2018 年には西日本豪雨災害、インドネシアロンボク島地震など、多くの緊急支援現場に赴く傍ら、南海トラフ地震対応準備の陣頭指揮をとっている。現在マレーシア首都クアラルンプールに在住。

AMDA 災害鍼灸ネットワーク

代表世話人

帝京平成大学 鍼灸学科 教授

今井 賢治 (いまい けんじ)



東日本大震災では、岩手県上閉伊郡大槌町で鍼灸師として緊急医療支援活動に参加。以来、AMDA 災害鍼灸ネットワークの代表世話人として鍼灸支援とその調整などを行う。その後、広島県土砂災害、熊本地震、西日本豪雨災害など、数多くの災害鍼灸活動に貢献した。大学での研究としては自律神経機能、心・循環器系、消化管異常に対する鍼灸活動の効果と機序をテーマとする。JAXA 内に宇宙鍼灸科学研究会(2012-2014)を設立し代表を務めた。教育研究を通して、被災地や宇宙など極限環境における鍼灸治療の重要性を示している。

151e 鍼灸院・接骨院

(熊本県熊本市)

AMDA 熊本鍼灸チーム・リーダー

吉井 治 (よしい おさむ)



熊本地震災害において AMDA 現地雇用鍼灸師として活動。8 名の現地鍼灸師からなる、熊本鍼灸チームを編成。緊急医療支援活動を終了した後でも、復興支援として継続的な鍼灸治療の提供が行えることとなり、被災された多くの方々に貢献した。現在は、震災で停止していた開業を再開しながら、AMDA と連携し、行政関係者を対象に震災後のメンタルケアを行っている。また、将来的な災害に備え機動性の高い移動鍼灸治療室となる車両を AMDA とともに制作し、災害時における円滑な活動を視野に入れている。2018 年の西日本豪雨災害時には、熊本鍼灸チームより 2 名の鍼灸師を派遣した。

朝日医療大学校 副学校長

(公社) 岡山県鍼灸師会理事

山口 大輔 (やまぐち だいすけ)



西日本豪雨災害の際には、最大の避難所となった倉敷市真備町の岡田小学校での緊急医療支援活動に鍼灸師として参加した。過去には、阪神淡路大震災の際にも往診用の鍼箱片手に兵庫県芦屋市の避難所を訪問した経験がある。日頃は、鍼灸・柔整・PT・ST・看護・歯科衛生の 6 学科を備える学校の複数の学科で教鞭をとりつつ、鍼灸治療と他の医療職種との効果的な連携を模索している。スポーツボランティア活動も積極的に行っており、大きな大会での活動実績は豊富である。如何なる環境や場面であっても、鍼灸治療の素晴らしさを実感しつつ活動している。

【11/23 会場地図】

朝日医療大学校

岡山県岡山市北区奉還町 2 丁目 7 番 1 号



【11/24 会場地図】

岡山県立大学

岡山県総社市窪木 111

